


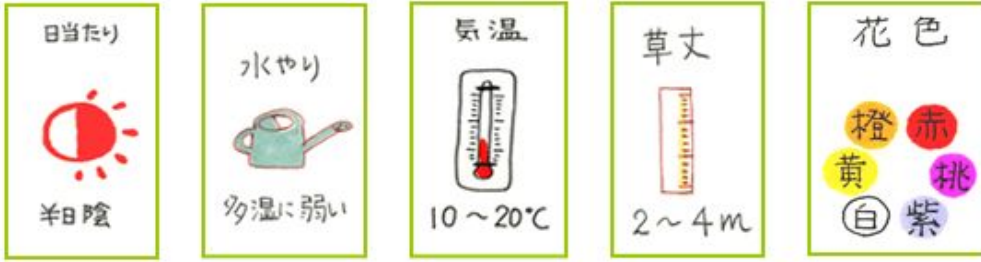
お花の栽培シリーズ「フリージア」

2007年12月	師走(しはす)・極月(ごくげつ)・余月(よげつ)・春待月(はるまちづき)	●来春への準備期間
●木枯らしが吹いて、木々も枯れ葉がめだつようになりました。ナンテンやウメモドキの赤い実がとてもきれいです。さびしくなった庭を片付けて、来春にむかって気分を一新しましょう。		
庭木の作業	・バラの植付け／庭木の元肥	
草花の作業	・フクジュソウの植え込み／落葉集めと腐葉土づくり	

今月の誕生花	カトレア・スイセン・ポインセチア
今月の花	サザンカ 花言葉 / (赤)謙譲 (白)愛敬
	<p>サザンカは、四国、九州など日本が原産地で、ドイツの植物学者 ツンベルグが江戸時代に世界に伝えました。漢名を山茶(さんさ)といい、山茶花からサザンカになったといわれます。</p> <p>園芸植物として発展したのは江戸中期以降です。花は平開で、小枝に密毛があることも、サザンカの特徴のひとつです。</p>
	
	<p>この花は、椿姫などという別名があるとおり、ツバキに似ています。しかし、ツバキのようにポテツとした厚みはなく、どこか軽やかな風情があります。</p> <p>また 枯れた時に、花の首ごとポトリと落ちる ツバキと違い、サザンカは花びらが1枚ずつヒラリヒラリと散っていきます。そして、寒ツバキ以外のツバキは 春に咲きますが、サザンカは 晩秋から冬に咲きます。</p> <p>香りも ほのかに甘く、どこかさびしげで 控えめな花です。そんなところから『謙譲』という花言葉が生まれました。</p>
	<p>原産地は日本。ツバキ科ツバキ属の常緑小高木。樹高は7～10m。開花時期は10～2月。最盛期は12月。葉の形状は、互生、長さ3～7cm。花色は、赤・ピンク、白、複色、履輪。英名 サザンカ・キャメリア(Sasanque camellia)。別名 椿姫、山茶花(漢字表記)</p>
	<p>サザンカというと、落ち葉焚きの歌が あまりにも有名です。</p> <p>真冬の あまり花のない時期に、ほっとさせてくれる ありがたい花です。</p>

# お花の栽培シリーズ

## 今月の花 フリージア



細い茎の先端に 小さなユリのような花が 並んで咲く かわいらしい姿で、早春を 楽しませてくれる 花です。

植え付けは、秋に行います。アヤメ科の植物は 連作を嫌いますから、前年に アヤメ科の植物を栽培した場所は避け、また、毎年 植え場所を 変更します。植えつけ後は 日陰になるように管理し、発芽したら 徐々に光に当てて 慣らしませう。鉢植えも 年内はよく日の当たる屋外で 管理します。

露地植えの場合は 11月頃、鉢植えは 9月下旬に 植えつけます。露地植えの場合、植えつけが早すぎると、寒くなる前に 葉が大きく茂って 霜害を受けやすくなります。小さな芽の状態 で 厳寒期を 過ごさせるのが ポイントです。

水は 表土が乾いたら 与えます。加湿を嫌うので、様子をみながら 加減します。開花期には 充分与え、花後は 徐々に減らします。



### ● 植えつけのやり方



アヤメ科の植物を植えてない 場所を選ぶこと!!

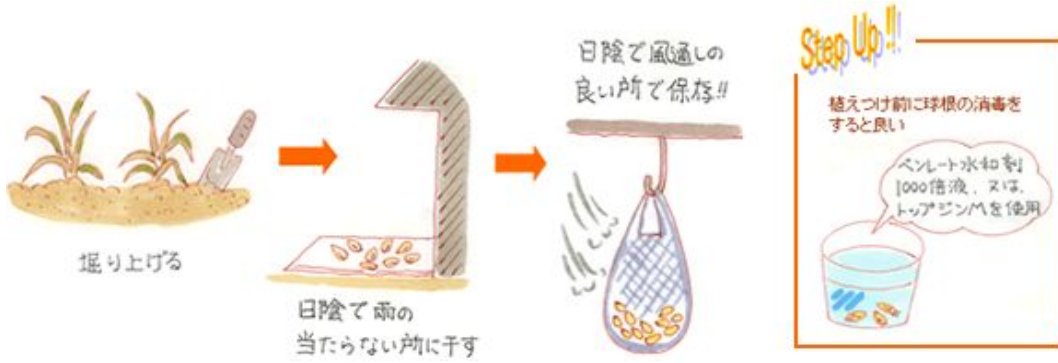
露地栽培は 10月下旬~12月上旬に 植えつけ。  
日当たりと 水まけのよい場所に 堆肥と 化学肥料をよく混ぜ込んでおく



鉢植えなら...



## ●掘り上げのやり方



## ●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	花期					休眠期						
置き場所	屋内または屋外の 日当たりのよい場所		屋外の日当たりのよい場所			屋外の半日陰 (雨の当たらない場所)			屋外の日当たりの よい場所			
水やり	2~3日に1回		表土がかかりたら与える(1日に1回) ※花後は徐々に回数を減らし、乾燥気味にする			4~5日に1回			4~5日に1回 徐々に回数を増やす		2~3日に1回	
肥料	月に1~2回、液肥を与える		● 花後に化成肥料を追肥						● 元肥			
害虫	アブラムシ、ハダニなどの防除に月1~2回薬剤を散布する											
作業	花から播み			掘り上げ			植えつけ (鉢植え)			植えつけ (露地)		
	霜よけ									霜よけ		